

〈お詫びと訂正〉

「小学生による絵本のビブリオバトル！」(pp.110～115) について

「ビブリオバトル」に関する記載に誤りがありました。ここにお詫びして訂正致します。

p.110

●「絵本のビブリオバトルとは」に対する注を追加

(注) ビブリオバトルの実施に際しては、ビブリオバトル普及委員会が作成したガイドラインがあります。詳しくは、下記 URL をご参照ください。

<http://www.bibliobattle.jp/>

●ビブリオバトル公式ルールを追加

〔ビブリオバトル公式ルール〕

- 1.発表参加者が読んで面白いと思った本を持って集まる。
- 2.順番に一人5分間で本を紹介する。
- 3.それぞれの発表の後に参加者全員でその発表に関するディスカッションを2～3分行う。
- 4.全ての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員一票で行い、最多票を集めたものを『チャンプ本』とする。

p.112

●上から3行目に追加

(注：ビブリオバトルでは特にアピール用紙の準備を推奨しているわけではないので、ここでは「まとめてもよい」という意味。)

●下から11行目を変更

持ち時間1分間で発表する。発表人数が少ない場合は発表時間を3～5分間に増やして、さらに具体的に発表する。ただし発表時間は全員平等にすることを心がける。

→ 今回は試しに1分で行ったが、本来は持ち時間3分(小中学生用のミニ・ビブリオバトル)もしくは5分(ビブリオバトル)で発表する。発表時間は全員平等に、そして必ず時間を使い切る。(注：ビブリオバトルの公式ルールではお気に入り度をメモする必要はなく、今回のワークショップでの試み。)

p.113

●中ほどの文章を変更

読んでみたいと思ったお気に入りの絵本

→ 一番読んでみたいと思った本

●下から 2 行目を変更

グランプリ決定！

→ チャンプ本決定！

p.114

●上から 1 行目，9 行目，11 行目を変更

グランプリ

→ チャンプ本

●下から 1 行目に追加

(注：ビブリオバトルの公式ルールにはなく，今回のワークショップでの試み.)

p.115

●下から 6 行目を変更

中学生を対象とした活動では…

→ ビブリオバトルとは異なるが，中学生を対象とした活動では…

※ビブリオバトルについては以下の文献が参考になります．

「ビブリオバトル 本を知り人を知る書評ゲーム」（文春新書）谷口忠大

「ビブリオバトルを楽しもうーゲームで広がる読書の輪」（さ・え・ら書房）粕谷亮美（著），
谷口忠大（監修），しもつきみずほ（イラスト）